

I 平成29年度6月補正予算の主な施策

1 子ども・子育て世代への支援の充実

- 次世代を担う子どもたちが心身ともに健やかに育つよう、子育てを社会全体で支えるため、保育基盤の一層の整備を図ります。

まず、喫緊の課題である保育士の確保・定着対策については、民間保育所に勤める保育士の給与を改善するため、県単独の補助制度を創設することとし、市町村と連携して保育士1名につき月額2万円の助成を行います。

また、保育士試験受験のための学習費用や、保育補助者の雇上げ費用、病児保育施設の整備などに対する補助制度を創設します。

- 学校・家庭を通じた教育環境の充実を図るため、子育てや家庭教育について保護者を支援する「家庭教育支援チーム」の設置を進めるほか、東京オリンピック・パラリンピックを契機としてスポーツの楽しさや国際感覚、ボランティア精神、障害者への理解などの教育を推進します。

また、児童生徒数の増加による過密状況に対応するため、特別支援学校3校において校舎の増築を行います。

- 私学教育の振興と保護者負担の軽減を図るため、私立学校経常費補助について、国の標準単価の引き上げに加え、県単独の補助単価を高校は20,500円、幼稚園は6,100円にそれぞれ引き上げます。

・千葉県保育士処遇改善事業【新規】	550,000千円（別冊 4頁）
・保育士人材確保等事業	96,377千円（別冊 5頁）
・病児保育施設整備事業【新規】	49,640千円（別冊 6頁）
・家庭教育支援チーム設置推進事業【新規】	3,000千円（別冊 7頁）
・オリンピック・パラリンピックを活用した教育推進事業【新規】	9,900千円（別冊 8頁）
・特別支援学校整備事業	40,000千円（別冊 9頁）
・私立学校経常費補助（一般補助）	22,730,019千円（別冊 10頁）

2 医療・福祉の充実

- 地域医療を支える医師・看護師を確保するため、卒業後に県内での就業を目指す学生に貸し付ける修学資金について貸付対象者数を大幅に拡充します。
- 県民の誰もが住み慣れた地域で安心して医療を受けられるよう、在宅医療を開始しようとする診療所や病院の医師等に対する支援を行うとともに、在宅医療の一層の普及に向けた県民への啓発活動を実施します。

また、急な病気やけがの際に症状の緊急性や救急車の必要性等についてアドバイスを行う電話相談事業を新たに実施するほか、骨髄移植の促進を図るため、骨髄を提供したドナーや、従業員にドナー休暇を与えた事業所に対する支援制度を創設します。
- 本県のがん医療の中核を担うがんセンターについて、新棟の建設工事に着手します。また、民間福祉活動や災害ボランティア活動の拠点としての機能を強化するため、県が主体となって社会福祉センターの再整備を行うこととし、基本設計に着手します。
- 高齢化の進展に対応するため、訪問介護・デイサービス等を行う介護事業所や認知症高齢者のグループホーム等について、施設数の増加に対応して整備費や開設準備費の助成を増額します。また、認知症に対する子どもたちの理解を促進するため、小学生を対象として「認知症サポーター」の養成を進めます。
- 高齢者や障害者などの交通手段の確保充実を図るため、福祉タクシー車両の導入費用に対する助成制度を創設します。

・医師修学資金貸付事業	33,000千円（別冊 11頁）
・保健師等修学資金貸付事業	6,240千円（別冊 11頁）
・在宅医療スタートアップ支援事業【新規】	17,000千円（別冊 12頁）
・多職種協働によるかかりつけ医・在宅医療等県民啓発事業【新規】	14,100千円（別冊 12頁）
・救急安心電話相談事業【新規】	30,240千円（別冊 13頁）
・骨髄移植におけるドナー支援事業【新規】	2,000千円（別冊 14頁）
・がんセンター施設整備事業	1,282,000千円（別冊 15頁）
・千葉県社会福祉センター整備事業【新規】（債務負担行為	34,000千円）（別冊 16頁）
・介護基盤整備交付金事業	390,000千円（別冊 17頁）
・特別養護老人ホーム等の開設準備支援等事業	160,000千円（別冊 18頁）
・ちば認知症こどもサポーター事業【新規】	6,500千円（別冊 19頁）
・福祉タクシー導入促進事業【新規】	70,000千円（別冊 20頁）

3 暮らしの安全・安心の確立

- 子どもの見守り活動や「電話 de 詐欺」の抑止など地域防犯力の強化に加え、東京オリンピック・パラリンピック開催時における運用を見据えて、移動交番車の増車を行うこととし、今後2か年で10台の追加配備を行います。
- 性犯罪・性暴力被害者の方々に対し相談やカウンセリングを行うため、民間団体や警察・医療機関等との連携による総合的な支援体制を整備します。
- 大規模イベント開催時におけるテロ災害などの緊急事態に対処する能力の向上を図るため、国や関係機関と連携して国民保護実動訓練を実施します。
- 公共施設等の防災対策を強化するため、警察署等の耐震改修について新たに3施設的设计に着手するほか、津波により被害を受けた九十九里沿岸の津波対策、農業用施設や保安林等の防災対策、公共土木施設等の長寿命化対策などを進めます。

・移動交番車配備事業	76,636千円（別冊 21頁）
・性犯罪・性暴力被害者支援事業	11,159千円（別冊 22頁）
・国民保護実動訓練の実施	16,000千円（別冊 23頁）
・警察署等耐震改修整備事業	44,409千円（別冊 24頁）
・河川海岸津波対策事業	3,250,200千円（別冊 25頁）
・農地防災事業	847,600千円（別冊 26頁）
・治山事業	1,083,441千円（別冊 27頁）
・公共土木施設等長寿命化対策事業	2,103,230千円（別冊 28頁）

4 商工業の振興・雇用

- 中小企業の積極的な設備投資等を支援するため、中小企業振興資金について平成29年度も過去最大の融資枠5,700億円を継続します。
- 女性の一層の活躍を推進するため、子育て等により離職した女性を対象とした再就職支援を行うほか、多様で柔軟な働き方の推進など「働き方改革」を進めるためのアドバイザー派遣や企業向けセミナーを実施します。
- 本県の地域資源を活用した独創的な事業展開や起業を促進するため、インターネットを活用した新たな資金調達手段である「クラウドファンディング」により新事業を行う中小企業に対する支援を行います。

・中小企業振興資金	30,000,000千円（別冊 29頁）
・輝く女性応援事業【新規】	12,000千円（別冊 30頁）
・「働き方改革」推進事業	16,500千円（別冊 31頁）
・「千葉ふるさと投資」活用支援事業【新規】	1,900千円（別冊 32頁）

5 農林水産業の振興と社会基盤づくり

- 農業経営体の経営能力向上や法人化による経営体質の強化を図るとともに、将来の千葉県農業を担う農業経営者を養成するための農業経営塾を新たに開設します。また、農林総合研究センターについて、新品種の開発や栽培技術の確立などの効率的な研究体制を整備するため、建替え工事に着手します。このほか、有害鳥獣による農業被害等を防止するため、捕獲頭数の増加に対応して市町村への助成額を増額します。
- 県産農林水産物の輸出拡大を図るため、海外向けトップセールスを行うとともに、輸出に取り組む生産者等が実施する設備整備に対する助成を行います。また、本県で開発したいちごや落花生の新品種についてPRや商品開発を行うとともに、安房地域を代表する果樹である「びわ」「かんきつ」の観光資源としての活用に取り組みます。
- 漁業者の収益向上や輸出拡大を図るため、銚子漁港内の水産加工施設について、高度加工や輸出に対応する衛生管理を導入するために行う建替えに対し助成を行います。
- 県民生活の利便性と経済活性化を支える道路ネットワーク整備などの公共事業については、骨格予算で計上していない新規着手分の予算を計上します。また、港湾事業において、千葉港千葉中央埠頭のガントリークレーンの更新などに着手します。
- 公営住宅について、バリアフリー化など高齢者等に配慮した住宅の整備・改修を進めるほか、新たに佐津間県営住宅の整備に着手します。

・ちばの次世代農業経営体育成事業	20,000千円（別冊 33頁）
・農林総合研究センター再編整備事業	（債務負担行為 3,152,000千円）（別冊 34頁）
・野生鳥獣総合対策事業	29,800千円（別冊 35頁）
・「世界に飛び出せ千葉の農林水産物」輸出促進事業	6,000千円（別冊 36頁）
・ちば・いちご産地活性化事業	8,000千円（別冊 37頁）

・新品種落花生生産産地支援事業【新規】	6,700千円（別冊 38頁）
・果樹（びわ・かんきつ）園を活用した地域活性化事業【新規】	8,600千円（別冊 39頁）
・県産水産物加工・流通・輸出拠点施設整備事業【新規】	30,360千円（別冊 40頁）
・道路ネットワーク事業	19,261,546千円（別冊 41頁）
・千葉港千葉中央埠頭の機能強化事業【新規】	279,000千円（別冊 42頁）
・公営住宅建設事業	818,680千円（別冊 43頁）

6 千葉の魅力発信

○ 東京オリンピック・パラリンピックに向け、本県開催競技の普及・振興を図るための体験イベントや、文化オリンピックアードの一環である県民参加型の文化プログラムを開催するほか、外国人が安心して滞在できる環境を整備するための都市ボランティアを育成します。

○ 平成30年秋に開催される4回目の「ちばアクアラインマラソン」に向けた開催準備を進めるほか、マラソンのランナー募集と連動した広報、チーバくんを活用したインターネット動画などにより、本県の魅力を県内外に発信します。

また、「チバザビーフ」や「千葉ブランド水産物」をはじめとする千葉県産農林水産物の魅力を発信するためのイベント等を実施します。

○ 県内で周遊・宿泊する観光客の増加を図るため、成田空港や県内鉄道駅を起点とする新規観光バスの運行やバスツアーの造成に対して助成するほか、海外の旅行会社が県内での宿泊を伴う団体旅行を行う場合に団体用バスの手配を行います。

・オリンピック・パラリンピック普及・教育推進事業	8,500千円（別冊 44頁）
・オリンピック・パラリンピック文化プログラムを契機とした千葉の文化力向上事業	12,060千円（別冊 45頁）
・外国人おもてなし語学ボランティア育成事業【新規】	5,220千円（別冊 46頁）
・ちばアクアラインマラソン開催準備事業	47,000千円（別冊 47頁）
・千葉の魅力発信推進事業	40,000千円（別冊 48頁）
・県産農林水産物魅力発信事業	6,550千円（別冊 49頁）
・県内発着バスツアー優待プロモーション事業【新規】	10,000千円（別冊 50頁）
・訪日外国人観光客誘致キャンペーン事業【新規】	18,295千円（別冊 51頁）

7 環境・文化施策の推進

- 生態系への影響や農林水産業への被害を及ぼすおそれのある特定外来生物について、生息状況調査の拡充や捕獲の強化に取り組みます。
- 老朽化が進んでいる中央図書館を含む県立図書館について、市町村立図書館との連携方策やインターネットを活用したサービスの充実など、今後の県立図書館として求められる役割・機能や施設整備の方向性などの検討を行います。

- ・ 外来種特別対策事業 33,250千円（別冊 52頁）
- ・ 「千葉県立図書館の今後の在り方」検討事業【新規】 5,700千円（別冊 53頁）